



令和6年7月1日号 校長 江田 慶久

### 令和6年度学校課題

(学校として、特に、重きをおいて取り組みたいこと)

自分の思いや考えを**表現する力**を育む指導の工夫  
～ふるさとのよさを**発信できる児童**の育成をめざして～

5月号でもお知らせしたとおり、この学校課題のもと、教科や領域(総合的な学習の時間等)、校外学習等を通して、1年間取り組んでいきたいと思ひます。

副題に「ふるさとのよさ」とありますが、この学びをとおして、地域のよさ→学校のよさ→家族のよさ、そして、自分のよさに気づきながら、自信をもって、自分の学んだことを(そして、自分自身を)、いろいろな方法で表現し、伝え合うことで、お互いの資質を高めていく。自分の生活範囲が広がって行っても(小学校→中学校→高校等→社会)自信をもって自分らしく生きていく。そして、将来、どこで暮らすことになっても(たとえ、月面基地でも)、心の中のどこかには、「ふるさと」がある。そんなふうになってくれば、この課題に迫った甲斐があると思ひます。

ちなみに、本校の「総合的な学習の時間」のテーマは  
<3年生> 地域に詳しくなろう

- ・人とつながろう
- ・岩舟町を知ろう
- ・自然とつながろう

<4年生> ふれあいから考えよう(福祉)

- ・今のわたしにできること
- ・障害のある方々とつながろう
- ・自然発見!栃木市

<5年生> 自然環境について考えよう(環境)

- ・土に親しもう
- ・海ってすごい
- ・エコサポーターになろう
- ・感謝を形に

<6年生> 未来を見つめよう(キャリア)

- ・地域の人を見つめよう(町づくり)
- ・修学旅行記を作ろう(情報)
- ・未来予想図を作ろう(キャリア)

※1・2年生の「生活科」では、上記の学習につながるよう、身近な人々や社会とのかかわりをもつ活動や体験、植物の栽培や自分たちの住む地域に興味をもつような活動をしす。

### 地域のバックアップ

(地域と共に未来の担い手を育てる)

- 5/11 岩舟子ども会育成会連絡協議会
- 6/ 8 ふるさと小野寺かるた大会
- 6/ 9 第21回岩舟地域青少年育成会議総会・講演会
- 6/17 とちぎ未来アシストネット事業 岩舟地域教育協議会
- 6/17 岩舟地区合同学校運営協議会

もちろん、これだけではありませんが、多くの地域活動に支えられながら、地域があり、学校があり、家庭があり、子どもたちの健全な成長があります。特に、対象を小学生にしぼった場合、地域には、「子どもたちのために、とにかく何かをしたい。」「子どもたちが喜ぶことをしたい。」「子どもたちの安全安心を守りたい。」「ふるさとのよさに気づいてほしい。」そんな思いにあふれていることに頭が下がる思ひです。

自分(江田)も、やがて、この職を終えたとき、皆さんのような地域人材になれるのだろうかかと自問するときがあります。岩舟町は、「生き方のお手本」にできる先輩方が沢山いらっしゃる町です。『自分が、いろいろな活動に積極的に携わり、多くの人と接しながらよりよく生きていく姿を子どもたちに見せたい。』ある保護者様がそうおっしゃっていました。自分(江田)も、そういうことに生きがい、やりがい、モチベーションを見い出せるような生き方をしたいと思ひました。

\*\*\*\*\*  
そのような中、第2回の学校運営協議会が開かれました。協議会のようすを次ページに掲載しましたので、ご参照ください。  
\*\*\*\*\*

行事については、ホームページを毎日のように更新していますので、そちらをご覧くださいと思ひます。今年度、ホームページについては、今まで以上に充実している(タイムリーに掲載している)と自負しているところです。ぜひ、お楽しみいただければと思ひます。また、ふるさと学習の一助として、裏面を構成しました。地域を知る活動と同時進行で、我が学び舎の歴史を知ることも必要です。この写真を見ながら、ご家庭でいろいろなお話をしていただければ幸いです。シリーズ化を目指します。

### 学校運営協議会議事録より

<委>は、学校運営委員さんのご意見

<学>は、校長等からのコメント

#### 5/1 第1回学校運営協議会

##### 1.資源物回収について

<委> 資源物を保管しているが、結構たまってきたのでそろそろ出したい。

<学> 9月のPTA奉仕活動の際にも回収も行っている。(保護者対象)年2回収という話もあるが、地域や中学校との関係もありなかなか難しい。

<委> 紙類等(濡れて困る物)、置いておける場所がないと保管できない。

<委> 益金が大きい。(感心している)こどもたちのために有効活用してほしい。

<学> 子どもたちが使う物や災害備蓄品等に使用してもらっている。周年行事等に使う可能性もあるので、現在は繰り越している状況。芸術鑑賞等も考えられる。

##### 2.学校評価について

<委> 11月に実施するが、学校運営方針等、保護者に説明する機会はあると良いのでは。特に、家庭でやってほしいこと、がんばってほしいことを伝えておくとよいのではないか。

<学> 5月の学校だより等で伝えたい。あいさつについては、「子どもも、教職員も」という形で努力点を伝えたい。

##### 3.校外学習について

<委> キウイフルーツ狩りや稲刈りなど、こんなに(盛んに)やっている学校はないのでは?

<学> 今後も願ひする方向である。

<委> サッカー観戦もできそう。

<学> 今後も体験活動を重視していきたい。

<委> 子どもたちは恵まれていることに気付いていない。教えてあげたい。

##### 4.給食について

<委> グループ給食が再開されたことがよかった。みんなで話しながら食べた方が楽しい。(自分も)給食が楽しかったので。

<学> 子どもたちはグループでもあまりしゃべらない。だんだん慣れてくると思う。

##### 5.PTA奉仕作業について

<学> 窓拭き(外面)など、やってほしいことはあるが、危ないこともあるので頼みづらい。

<委> のり面の草刈りは難しい。

<学> 敷地内の草刈りは、市を通して業者に頼んでいる。(年に2回)スズメバチの対応も、市に頼んだ。

<委> 側溝掃除は、今年のPTA奉仕作業でもやっていない。コロナ禍を挟んで、いろいろわかる人が減ってきた。



##### 6.その他

<委> 共働きの家庭も多くなって、家の人のゆとりがなくなってきている。

<学> そんな中でも、子どもたちはニコニコがんばっている。

##### 【授業を参観して】

<委> タブレットやノートとの距離が近い。視力が心配。

<委> 明確にめあてを示して授業をしているのがとてもよい。

<委> 授業の始めと終わりに今日何をやるか、何をやったかを考えると心に残る

<学> 「めあて」と「ふり返り」をセットで・・・栃木市では『とち介の学び』として先生方に意識して取り組んでもらっている。

<委> 高学年になるにつれて、学期ごとのめあてが具体的になってくる。段階を踏んでめあてを考えている。流れがよい。

<委> 1年生のひらがなの練習 枠に入れて練習するやり方に驚いた。

<委> みんな生き生きしている。

<委> 学校で先生がやるが増えている。(環境、衛生への対応等)

<委> 先生方の言葉遣いや呼名など、子どもたちに細心の注意を払って授業をしている様子が伝わる。



#### 6/12 第2回学校運営協議会

##### 【授業を参観して】

<委> 学年が上がるごとに集中力が増している。騒がしくとも静かになるまで待つ先生方の指導法に好感がもてた。個別に根気強く教えているようすもうかがえた。いい学校だと感じた

<委> 話を聞く姿勢がよい。2年生のプライベートゾーンについての掲示は、今の時期、時代に合うものだった。子どもたちが楽しそう。

<委> 学校が楽しいことが一番。楽しくないと続かない。4年生の英語を見て、昔の英語とは違うなと思った。高学年の学習に対する態度(は、さすが)低学年との違いを感じた。

<委> 3年生の掲示:目標に「ふわふわ言葉」という言葉があった。6年生の算数:「数学」に向けての学習をしているなと思った。

<委> 2年生の図工:粘土の袋がもっと開けやすいとよいと思った。3年生の掲示:町巡りの地図がきれいにまとまっていた。4年生の英語:とても楽しかった。子どもたちが楽しく成長できる。5・6年生:真面目に取り組んでいる。

【その他】

<委> 毎月の「人権についての目標」:人権に目を向けていることがよい。

<学> ホームページの最初のページにも掲載しています。

<委> エアコン:チョークの粉が詰まりがち サーキュレーター、空気清浄機の使用も効果的でよい。